ろ）デ朝鮮ニハ既ニ知ラレテ居タモノヽ由從ッテ日本デハマヅ初見參ノモノヽ由

○おはるさんノ植物趣味

久内清孝

「千はやふる、神無月とよ、うらめしの嵐や」ハ世ニモ名高キじゃがたら文ノ書出シノ文句デアル、余ガ此じゃが文ノ存存ヲ知ッタノハ黒板勝美博士ノおかげデアッタト記憶シテ居ル、ナンデモ今カラ二十年モ昔ノコトデアル當時余ハ草木ノコトヲ知ラズニタヾ他ノ方面カラコノじゃがたら文ヲ見タノデアッタガ今ニナルト草木ノ方面カラ此文ヲ思ヒ起シタクナッタ

ソモ〳〵此文ハ千六百年代ニじゃがたらニ渡ッタおはるト云フ女性カラおたつト云フ女ニ送ッタ文デアルガ文中「松かさ、この手がしわのたね、杉のたね、はうきぐさのたね」ノ送付方ヲ依賴シテアル、異郷ニサスラヒテ「かへすゞ〳〵なみだにくれて」望郷ノ念禁ジガタク、セメテ故郷ニアッテ見知ッタ草木ヲじゃがたらナル吾ガ家ノ庭ニ培養シテ自カラ慰メヤウトスル心情ヲ當時ノ交通及ビ我國ノ國法ノコトヲ胸ニオイテ考フル時ハマコトニ同情セザルヲ得ナイ、イヤソレヨリモ右注文ノたねガ若シモ送ラレタトスルナラバ熱帶圏ノじゃがたらデドンナ結果ニナッタカ知リタイモノデアル、世ニ往昔渡來シタ植物ヲ稽ヘル人ハ少クナイガ輸出シタルモノヲ云々スル人ハアマリ見受ケナイ樣デアル、尤モコンナ事ハ稀有ノ事實デアラウ然シ夫レ故尙更面白イコトデアル、マタ、カヽル例ノアルコトカラ古代ニ於ケル民族ノ移動ニ伴フ植物ノ移動ニ就テ我々ハ或ル暗示ヲ受ケルモノデアル、卽チ天孫民族ト其愛玩植物、鮮人ノ渡來ト彼等ノ持參シタ草木ナドハ單純ナ植物地理學者ニ無用ノコトカモ知レナイガマタ某々植物ノ我國ニ於ケル存在ノ解決ニハ一考ニ價セズト斷言スルコトハ一種ノ獨斷デアラウ、人情ハ古今東西同一デアルカラニハ有史前或ハ以後去來シタ人間ニヨリ輸入サレ輸出サレタモノ

ノアルコトハ想像ニ價スル、然シ其斷定ノ困難ナルハ言フマデモナイガ將來近隣諸邦ノ植物ノ調査ヲ事トスル士ガ輩出シタ曉ニハ隣邦ノ言語ト邦語トノ比較ト共ニ本邦古代ニ於ケル交通史上ノ暗點ヲ闡明スルコトガ出來ルカモ知レナイト同時ニ生物地理上益ナシトシナイカラ一言駄辯ッテオク

○岡山縣ニ於ケルいたどりノ方言分布

岡山縣岡山市、第六高等學校生物學教室　佐藤清明

一、

本誌第五卷三〇五頁ニ於テ牧野先生ハ方言調査ノ出來テ居ナイ現狀ヲ嘆イテ學者ノ怠慢ヲ責メ「ヘン文明國ガ聞テアキレラー」ト一喝セラレタ、コノ一喝ハ遂ニ私ノ頭ニ見事命中シテ其レ以來、鄉土カラ初メテ少シ宛方言蒐集ニ蝸牛ノ歩ミヲ續ケタ、今私ノ處ニハ縣下ノ植物方言ガ凡ソ五百種程集マッテ居ル、此ノ一篇ハ卽チ其ノ材料カラ整理シタモノデ未完成ノ分布論デハアルガ何カノ御參考トモナラバ無上ノ光榮デアル、資料ヲ與ヘラレタ諸氏ニハ深ク感謝ノ意ヲ表スル次第デアル

二、

岡山縣ノ東隣兵庫縣赤穗郡佐用郡デハいたどりノ方言ハだんじデアル、ソコデ其ノ影響ヲ受ケテ東部ハ

1　だんじ　　英田郡粟井村、大野村、西粟倉村、和氣郡三國村
2　だんじこ　　英田郡土居村

ソレガ南下シテさいじトナル

3　さいじ　　和氣郡日生町　邑久郡幸島村、朝日村　兒島郡日比町、鄉內村、灘崎村、福田村、兒島町、下津井町　都窪郡中洲村、豐洲村、倉敷市　淺口郡連島町